



# 羽田・海から 撮影会 & 講習会

日本航空写真家協会

船上撮影会：1/15、1/22、1/29 (土曜日開催/予備日翌日曜日)

座学講習会：2/26 (東京都立産業貿易センター浜松町館会議室)





# 羽田船上撮影会

## 変わった羽田

D滑走路や新国際線ターミナルの誕生は羽田を大きく変えました。運用が変わりました。北風のシーズンとなって、その変化は一層顕著です。

D滑走路(RWY05)は基本的に西行機、C滑走路(RWY34R)は北行機が使用するため、離陸機はその2/3+がRWY05を使います。そしてD滑走路は、文字通りとりつく島の無い人工島+栈橋滑走路ですから、平和島でも城南島でも、以前のような頻繁な撮影機会がなくなりました。飛行機写真愛好家の皆さんは、新しい撮影場所を見つけておられるでしょうか？

APECの警備も終わり、空港が日常性を取り戻した先日、JAAP有志で小型艇に乗り、D滑走路の東側から行き交う旅客機を撮ってみました。これが、予期せぬ写真が撮れたりして、なかなか面白い。面白さを分かち合うためにも、「講習会を前提とした船上撮影会」を行うことにしました。

## 船上撮影会

じつは、大型船を使い100人規模で豪華ランチクルーズ風撮影会を行う計画も以前からありました。そもそも関東の1月は、特徴的に晴天日が多いですが、天候にはリスクがつきものです。悪天に当たったら目も当てられません。大型船では全滅です。

そこで今回は、JAAP会員有志で実際に用船した小型船(下)を使い、1月の土曜日午前中を使った複数回の船上撮影会を繰



り返す、という方法をとることにしました。リスク分散です。また、翌日の日曜日を予備日として設定します。その土日とも悪天の場合は、2月に改めて日を設定します。

## 撮影会・講習会計画日

羽田船上撮影会の計画日は、2011年1月15日、22日、29日とします。天候等を見定め、出船のGO/NO GOの判断(計画日か予備日か)は前日正午をもって決定します。

なお、2月26日(土)に、撮影成果を中心とした座学講習会を開催します。会場は都立産業貿易センター浜松町館会議室(JR浜松町駅から竹芝栈橋方面徒歩5分)です。詳細は追ってご案内します。会場費分担の観点から講習会は別途有料ですが、船上撮影会参加者には割引をいたします。

## 募集人数等

各回の船上撮影会募集人数は8名、最小催行人数は6名、同行JAAP講師は2名です。参加料は12,000円(用船料・保険料・撮影講習料等)。参加希望の方は正式決定のため、JAAPからお知らせする口座に事前振込をお願いします。

## 集合場所・集合時刻

集合場所はモノレール「整備場」駅出口。出口は1カ所です。新整備場駅とお間違いないきよう。

集合時刻は0730時とします。

付近に駐車場は全くありません。自家用車利用の方は、羽田国際線ターミナル駐車場をご利用になるのが便利でしょう。終日駐車料で1,500円です。モノレールご乗車の際は、各駅停車の列車(区間快速等は通過)を確かめてご乗車下さい。

## 揺れる小型船からの撮影内容

計画では0800時に出船します。安全確保のため船上では一切船長の指示に従って下さい。当然ライフジャケットも全員装備です。東京湾といえども冬の海です。撮

影に夢中となって、船から転げ落ちたら命にかかわります。船上でも機材が波を被るかもしれません。何があっても自己責任を肝に銘じて、十二分の注意をお願いします。

往き道C滑走路を使う機体に遭遇すればラッキーですが、D滑走路に行き着くまでに1機あるかどうか。翻ってD滑走路は賑やかです。

しかし、D滑走路北端を回り込むと、船は結構揺れます。船酔いがか心配な方は、ご自身で対策して下さい。なお、降りるハシゴは垂直ですが、下層船室に立派なトイレも装備されています。

ちなみに超望遠レンズの使用については、有志予行日の例では、フルサイズ500mm程度までが順当でしょうか。離陸後の右旋回、翼上面を見せる機影をとらえようとしてテレコン付加1,000mmとなると、フレーミングの自由度がかなり阻害されます。しかしこれも当たると面白いし、500mmでも撮れた旋回がありました。しかし当日は、風強くさらに揺れるかもしれません。

エアボーン直後では、APS-C 300mm程度が適正でしょうか。視程が良ければ、富士山、新旧管制塔、スカイツリー等が背景に入ります。さらに短いレンズでも近寄って撮れますが、仰ぐ関係で背景は消え、金網が目立ちます。

到着機も頻繁で、RWY34R/L双方に降りてきます。平行進入ですから、2機が1コマに収まる場合もあるでしょう。また正面気味のショットでは、こんなダイナミックなレフ板は他にあるか?という逆光ショットが楽しめます。海の反射は偉大です。

## 約4時間の「航海」

こうして多摩川河口を少し遡り、川崎浮島公園からではちょっと無理かなといったポジションまで行き、Uターンして戻ります。滑走路が増えた分、機影のない時間もままありますが、帰路も撮影機会に満ちています。帰着は正午、4時間の「航海」です。

参加ご希望の方は、JAAPのHP (<http://jaap-net.jp/>)の詳細をご覧ください。



JAAP

# 座学講習会

船上撮影会参加者はお気に入りの写真を最低3点、回覧できる形でお持ち下さい。船上撮影会不参加だった方は、自由作品でやはり3点お願いします。サイズはA4程度のプリントです。できるだけ現像可能なノートPCもお持ち下さい。また、今回の講習会では、2つの「宿題」を出します。

## 課題撮影

ひとつは撮影の着眼点にかかわるもので、船上撮影会における成果作品に加え、「新しい羽田」をテーマに撮った、飛行機が画面に入った写真、自信作を最低1枚は講習会に持ってきてもらうことです。

D滑走路や新国際線ターミナルの誕生で、空港にはどこか新しさがあります。国際線ターミナル展望デッキからA滑走路を挟んで管制塔や第1ターミナルを背景にした画も新しいでしょうし、RWY34R/L平行進入機を国際線ターミナル駐車場屋上から狙うのも一興でしょう。夜の国際線エプロンも面白いかもしれません(右およびJAAP HPのGALLERYに作例あり)。

撮る場所の発見は大きな前進要素です。船上撮影会後にも、空港か空港周辺で各自、何か新しさを見つけて下さい。

## 課題写真を各自が補正

もうひとつの宿題は、画像補正に関するものです。補正の必要な写真をRAWファイルで提供します(右2点)。B.747は羽田TWRからガラス越しのNikon NEF、A380は圧倒的な曇りモヤという条件下のCanon CR2ファイル。JAAP HPから圧縮ファイルをダウンロードし、それをご自身の補正手法で「見られる域」に、よりベターなものにして下さい。

そもそも飛行機写真の特徴とは、どのようなのでしょうか？

お天気商売ですが、晴天ばかりじゃありません。2010年の航空自衛隊航空祭は、



JAAP



夏の百里以降、好条件といえたのは松島くらいで曇りが多い。また、晴れはしたもの、百里航空祭のように季節柄モヤが強く、機影をくっきりさせたい思いがありました。いずれも、見せられる写真に仕立てたい。

飛行機写真では、近接撮影が可能な空撮等以外は望遠レンズに頼ります。対象である航空機まで距離があり、機影を引きつけると、当然モヤなども圧縮してしまいます。

また、望遠レンズは万全でしょうか？画像にメリハリをつけようとする、特にフルサイズ・フォーマットの場合、テレコン装備で絞りが狭い時など、レンズの周辺光量不足が目立ってくる場合があります。それを放置してよいかどうか。そもそも空は、雲などない場合、均一性が特徴です。適正な処理は可能か。どうしたら効率的な作業が可能か。そうした努力の結果を持ち寄り、発表しましょう。

下の作例は、2010年岐阜基地航空祭におけるF-2A試作1号機。左が元画像、超望遠によるモヤの圧縮が顕著です。右がNX2を使った補正後。航空雑誌等の航空祭レポートでは、現状を伝えることにはならない過剰補正と言われるかもしれませんが、しかし、同じ曇りなら、許せる曇り、気持ちよい曇りの方がいい。「する・しない」は後から考え、「できる・できない」をと

りあえず追求したい。すると、ゴミ箱にいく写真が確実に減るうえ、デジタル写真におけるハードとソフトの一体感も強く認識できるはずです。

このほか講習会では、「どちらがいいかなぜいいか」といった類似写真の比較なども詳しく行いたいと考えています。写真の見定めは次の撮影に役立つはずです。

今回は0900-1700時、まるまる1日の座学講習会です。参加決定の皆さんにはアンケートをお送りし、一層ご希望に添う講習内容にする予定です。



5



日本航空写真家協会（JAAP）主催  
 撮影会・講習会実施規定

1. 撮影会および講習会の実施期間中は、講師および船長等の指示に従って頂きます。
2. 撮影に際しては、ご自身の安全確保のみならず、他者および施設機材等に対して十分に配慮して下さい。また撮影マナーを遵守して、参加者をはじめ他者に迷惑を及ぼすような行動は慎んで下さい。
3. 上記の規定に違反した場合や、その他の状況により、撮影を中断して頂く場合があります。
4. この講習会で撮影した作品の著作権は撮影者に帰属します。しかしながら日本航空写真家協会（JAAP）が必要としたときは、有償無償を問わず優先的な使用を認めるものとします。

誓約書

私こと\_\_\_\_\_は、日本航空写真家協会（JAAP）主催の撮影講習会を受講するに当たり、下記の事項について誓約いたします。

1. 撮影にあたり、上記の実施規定を遵守し、講師および船長等船舶管理者の指示に従います。
2. 撮影時の安全確保は全て私の責任で行ない、私あるいは私の撮影中および受講中の行動によって第三者に事故等が生じた場合には、全て私の責任と負担でこれを処理し、日本航空写真家協会および講師、船舶所有者、船舶管理者に対しては一切の請求を致しません。
3. 撮影によって生じた機材、備品等の破損、故障及び劣化については、その原因の如何に関わらず、全て私の責任と負担でこれを処理し、日本航空写真家協会および講師、船舶・施設所有者、船舶・施設管理者に対しては一切の請求を致しません。
4. 乗船中の事故に伴う補償等については、使用する船舶が加入している保険等の補償範囲内で行なわれる事を了承します。

上記の内容を確認し承諾いたします。

年 月 日

署名 \_\_\_\_\_ (自署)

日本航空写真家協会主催  
 撮影会講習会参加申込書

氏名	年齢	性別に○を 男・女
住所	郵便番号	
電話番号	携帯番号	
E-mail address (添付ファイルの受け取れる)		
飛行機写真経験年数	主な撮影対象 ○をつけて下さい 民間機・軍用機	
使用カメラ	主な使用レンズ  mm	
	mm	
主な撮影飛行場		
船上撮影会希望乗船日 ○で囲って下さい <b>1/15    1/22    1/29</b> 参加料：12,000円 お振り込み口座はe-mailでお知らせします。お振込確認をもって正式参加となります。 キャンセル規定についても、合わせてお知らせします。	座学講習会（2/26）参加希望 ○で囲って下さい <b>はい・いいえ</b> 船上撮影会参加者：6,000円 一般参加者       ：10,000円 受入受講生35人をもって応募を締め切ります。	
18歳未満の場合：「子供の参加を承認しています」 親権者自署		印
※参加の受理については、当方で応募内容を確認のうえ、メールにてご連絡させていただきます（原則、先着での受付とさせていただきます）。 ※個人情報当講習会以外には使用いたしません。しかしながら、JAAPの行う写真展や関連出版物のご案内をさせていただくことについても「OK」とされる方は、次の□に✓を入れてください。		

FAX to : 03-3438-2144 (JAAP 撮影会講習会事務局)